選択

2026.2月号●目次

連載

10 世界のキーパーソン
11 国内人事情報
27 Book Reviewing Globe
40 テイレシアスの食卓―河井健司
42 大往生考
51 西風
58 新・危機管理のノウハウ
59 交差点―読者の声・編集者の声

社会・文化

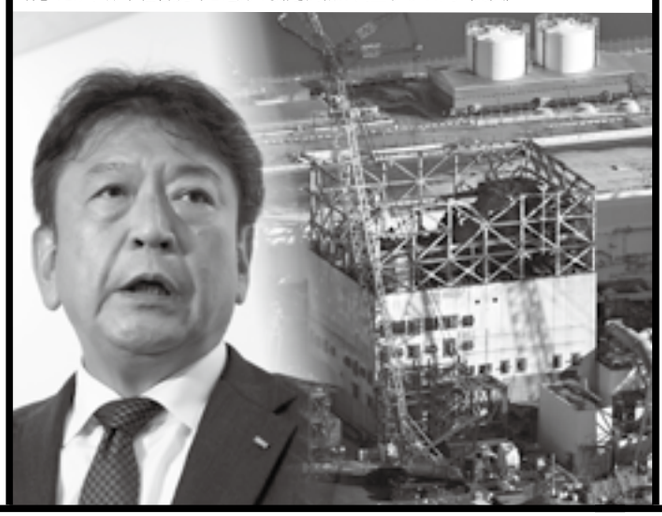
日本最西端で台湾海峡との最前線の島は、過疎と「軍事要塞化」の重圧に苦しむ。ミサイル受け入れを迫る政府は、この地に常勤の医師すら手当てしない。80年前と変わらぬ「沖縄蔑視」が1700人の島民を切り裂く。(110頁)

98 社会・文化●情報カプセル
100 日本で墓所を買い漁る中国人―新たな「対日不動産投資」の標的
102 医師紹介ビジネスは闇だらけ
■「病院搾取」で肥え太る輩たち
104 成長戦略会議「素人集団」の亡国―俄か有識者「濫造」で血税浪費
106 日本初「ステーブルコイン」に中国の影―公安が注視する新興金融の動向
108 霞が関「機密漏洩」の深刻な危機
■「脆弱システム」デジタル庁の大罪
日本のサンクチュアリ●シリーズ617
110 与那国島―対中防衛の「捨て石」なのか

経済

60 高市財政「通貨危機」の足音
■「円暴落」阻止は容易でない
62 自動車産業「日中逆転」の現実
■中国製EVに頼るトヨタとマツダ
64 余罪数多の「プルデンシャル生命」
■隠蔽された悪行と狡猾な悪党
67 連載〈クローズ・アップ〉門田泰人(東京コスモス電機社長)―アクティビストとの珍奇な「二刀流」
68 連載〈企業研究〉東京電力
■「上場廃止」は不可避に
72 クスリのアオキ「創業家」の大暴走―「イオン撃退」青木兄弟が奇手連発
74 経済●情報カプセル
78 連載〈地方金融の研究〉七十七銀行(宮城県)―不可解な「福岡進出」の理由
82 川崎重工「不祥事5度目」の宿痾―橋本康彦社長はまだ居座るか
84 製薬業界「儲け過ぎ」が鮮明に―社会還元なき我欲と虚飾の繁栄
86 名古屋鉄道「駅前再開発」は頓挫へ―経営陣の不作為が招いた「自滅」

国内外のファンドによる出資は10兆円規模を想定。福島廃炉8兆円は国の責任とする再建策だ。4子会社は各々上場を目指す。すなわち東電の「解体」だが、赤字経営脱却と電力の安定供給は両立するのか。(68頁)



政治

中道結成は再編の序章。選挙結果しだいで玉木も石破も揺れ動く。一方の連立政権は組み替えを視野に、より「右シフト」を早める可能性も。久々の本格再編が始まるにせよ、国民不在の権力闘争には変わりない。(48頁)

44 政治●情報カプセル
46 中道新党に「創価学会」の深謀遠慮
■立憲民主「救済合併」の舞台裏
48 政界再編「第2幕」の行方
■与野党錯綜「乱世」が始まる
52 連載〈政界スキャン〉高市が解散に秘めた「トランプ願望」
54 「反高市」が充満する自民党
■「独断解散」で走った深い亀裂
56 高市「トランプ媚態外交」の閉塞―春の訪米で失う「日本の信用」

WORLD

●特別リポート
6 「ジャングル」と化す世界
―「帝国主義」に戻るトランプ時代
12 米軍が密かに進める「核戦力増強」
■核軍縮条約「消滅」後の危うい世界
14 米国「軍用AI」が変える戦争―大躍進「パランティア」の野望
16 欧州がグリーンランドを見捨てる日
■トランプの強欲に抗えぬ理由
18 WORLD●情報カプセル
22 親露国家「崩壊ドミノ」の衝撃―プーチンが味わう屈辱と苦境
24 イラン体制危機は「次の段階」へ
■米国とイスラエルは諦めない
28 世界は一層「紛争多発」の時代に―中東・アフリカで「代理戦争」続々
30 ネパール「Z世代革命」は頓挫へ―政権打倒でも変わらぬ旧来政治
32 統一教会と自民党「韓国捜査」の今後
■高市政権が抱える憂鬱な難題
34 台湾に広がる対中「楽観論」―米国と高市発言が生んだ「過信」
36 米中「半導体戦争」で和睦の機運―トランプが踏み出す「悪魔の取引」
38 連載〈現代史の言霊〉2月の審判―イスラエル首相選挙(2001年)

「強者はしたいことをして、弱者はそれを耐え忍ぶ」。カーニー演説は世界の現実を冷徹に定義した。密林のボスの横暴に膝を屈するか、中堅国の結集で対抗するか。選挙の争点にもならない究極の平和ボケ日本。(6頁)

3 連載〈巻頭インタビュー〉久米晃―「高市解散」は自民党を弱らせる

80 金融の世紀―黒木亮
88 皇室の風―岩井克己
90 日本の科学アラカルト
92 新・大学評判記
94 本に遇う―河谷史夫
96 をんな千一夜―石井妙子
114 マスコミ業界ばなし

●写真提供／時事通信フォト　共同通信イメージズ　朝日新聞社　など